

学校番号	26	学校名	静岡県立富士東高等学校	校長名	朝倉 徹
------	----	-----	-------------	-----	------

取組目標	成果目標 (〔肯〕…学校評価における肯定的評価の割合)	達成状況 (丸数字は学年)	評価	成果と課題
ア 自己の在り方 生き方を主体 的に深く考 え、その実現 に向けて粘り 強く行動する 生徒を育て る。	・学校で課された共通の課題に加え、予習・復習を含めた自主的な学習をしている生徒/70%以上	①65.6%②76.1%③91.2% 全体78.0%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体としては70%を超えているが1年生におけるプラスαの学習の定着が課題。</li> <li>家庭学習時間伸長のための仕掛けを工夫する必要がある。</li> <li>駿台atama+を、導入2年目となり、スムーズに運営できるようになった。一部の生徒の取組に課題が見られるようになった。</li> <li>結果分析会は、年度初めに各学年の強み弱みを把握する有益な機会として継続する。</li> <li>支援体制の保護者の満足度が2年連続で上昇している。</li> <li>共通テスト受験についてやむをえない事情が出てくることを想定しながら、指導を継続する。</li> <li>進路について考える取組を一層充実させる。</li> <li>生徒の進路につながる講師の選定をする。</li> </ul>
	・1週間の家庭学習時間の平均/ 1年14h 2年16h 3年32h	①12.8h②10.3h③28.6h	C	
	・駿台atama+の効果的な活用/1、2学年	年6回の効果的な活用を目指し、生徒の意識づけをした。	B	
	・スタディーサポート結果分析会/全学年で実施	全学年で実施し、各学年の傾向を共有した。	A	
	・生徒の進路希望実現のための、個に応じた学習支援や進路支援体制が整っている/[肯]80%以上	①87.0%②85.5%③86.3% 保82.2%教94.6%	A	
	・大学入学共通テスト受験率/100% (3年生)	受験率98.5%	B	
	・進路閲覧室の充実を通して、必要な進路情報を適切に発信している/[肯]90%以上	①88.8%②88.5%③96.0% 保83.4%教97.3%	B	
	・外部検定に挑戦する生徒/50%以上	①17.4%②37.7%③47.3%	C	
イ 自ら問いを立て、多様な人々と協働しながら解決策を導き出す探究活動を充実させる。	・学生サポート満足度/80%以上	①85.3%②83.3%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>静岡県立大学の学生サポートは生徒の探究学習に大きな刺激を与えている。来年度以降も継続したい。</li> <li>「外部との接点」の定義を明確にし、アンケートの質問文と目標値の検討が必要である。</li> <li>探究活動に前向きに取り組む生徒が多いので、外部への発信の機会を検討したい。</li> <li>DXハイスクール後においても、持続可能な探究活動の検討を行う必要がある。</li> </ul>
	・自身が解決したい課題を明確にできた生徒/90%以上	①91.4%②89.1%③85.6%	B	
	・探究活動に前向きに取り組んだと答える生徒/70%以上 (情報収集、整理・分析、まとめ・表現の達成度)	①87.1%②87.6%③88.1%	A	
	・外部との接点をもった生徒/80%以上	①4.3%②13.2%③4.8	D	
	・年度末までに令和7年度入学生版「しののめ探究」3年計画を作成	DXハイスクールとしての取組を踏まえつつ、理数探究基礎の内容等について検討した。	B	
ウ 各教科における指導と評価の一体的な充実を通して、質の高い学力を育む。	・年間指導計画に基づいた「指導と評価の計画」の見直しをもっている教員/100%	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画に基づいた、指導と評価の一体化の考え方への理解が進んだ。</li> <li>授業における「問い」の設定と「成果」の想定を意識できた。</li> <li>各学年7割以上の生徒は授業の見直しを持っているが、目標にはとどかなかった。</li> <li>授業や単元の終わりにおける学習状況の把握も目標値に達しなかった。自らの学習を振り返る機会の充実が必要である。</li> <li>授業において「主体性」を発揮する場面が他と比べやや低いが、育成を目指す資質・能力を発揮しながら授業に臨むことができています。</li> <li>DXハイスクールのICTを活用できる環境は整いつつある。</li> <li>タブレット端末の活用について、昨年度同様3年生の活用が低い。</li> <li>新しい教育課程について、必要な検討、実施準備を続けていく。</li> </ul>
	・単元ごとに「問い」の設定と「成果」の想定をした教員/いずれも90%以上	問い93.3% 成果96.6%	A	
	・毎時または単元の始めに、課題(問い)の見直しをもっている生徒/80%以上	①76.2%②77.2%③77.5%	B	
	・毎時または単元の終わりに、自らの学習状況を把握している生徒/80%以上	①72.8%②63.0%③74.9%	B	
	・毎時または単元の終わりに、その後の学習への目標や課題を意識している生徒/80%以上	①65.6%②61.8%③70.2%	C	
	・授業で自らの「思考力」「主体性」「コミュニケーション能力」を使う場面があると答える生徒/100%	思①96.9%②93.5%③93.5% 主①94.4%②86.9%③88.9% コ①96.3%②90.6%③93.5%	B	
	・ICT活用や協働的な学び等を通じた、魅力ある授業を展開している/[肯]80%以上	①82.6%②83.5%③86.3% 保90.7%教100%	A	
	・Google Classroom、ロイロノート、Cラーニングを授業で活用した教員/70%以上	60.0%	B	
	・1人1台タブレットを活用したと答える生徒/80%以上	①79.1%②79.0%③54.5%	C	
	・11月までにR8乙変更の大筋を決定	予定どおり教育課程変更届を提出できた。	A	

様式第3号

取組目標	成果目標 (〔肯〕…学校評価における肯定的評価の割合)	達成状況 (丸数字は学年)	評価	成果と課題	
エ	学習・特別活動・部活動の両立を通して、知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育成し、人格の完成を目指す。	・図書館の充実、読書週間の設定など、読書をする環境が整っている／〔肯〕80%以上	①86.3%②87.8%③91.4% 保88.2%教94.6%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>新旧図書の入替え、利用者層にあった選書を行うことができた。親書一覧を発行し、書籍の紹介をこまめにできた。</li> <li>生徒は特別活動・部活動に主体的に参加し、満足度も高い。</li> <li>今後、少人数の部活動が増えることも見込まれ、工夫した活動が求められる。</li> <li>時代の要請を踏まえた部活動の在り方を引き続き検討するとともに、部活動ガイドラインの遵守を徹底する。</li> <li>行事や部活動を通じた人間関係づくりは、概ね達成できた。</li> <li>不注意による遅刻も見られる。基本的な生活習慣の確立を継続指導する。</li> <li>挨拶について継続して指導していく。</li> <li>交通ルール遵守やマナー向上に向けた注意喚起を日常的に行った。</li> <li>避難訓練は体育館への避難となり形式的になってしまった。</li> <li>健康状態に対する意識向上のため、保健委員からの声掛けなど行っていく。</li> <li>共生・共育委員会が、富士東分校との交流の機会を模索した。</li> <li>1、2年生へのハイパーQ U心理テストを実施しているが、年1回では変化がわからず、活用しにくい。</li> <li>3分間カウンセリングや適時の教育相談を通じて、個に応じた指導の充実を図った。</li> </ul>
		・読書週間に視野を広げたり知識を得たりできた生徒／70%以上	①60.6%②71.7%③82.5%	A	
		・主体的・積極的に学校行事や部活動に参加する生徒を育成している／〔肯〕90%以上	①93.2%②88.4%③89.0% 保90.5%教94.4%	B	
		・生徒の東雲祭、球技大会への満足度／90%以上	文化の部94.4%体育の部99.4% 球技大会(7ネット未実施)	A	
		・生徒の部活動への満足度／各学期80%以上	1学期99.6% 2学期(1月)97.4%	A	
		・部活動ガイドラインの遵守／100%	90.3%	B	
		・学校行事や部活動等を通じた良好な人間関係づくりを指導・支援している／〔肯〕90%以上	①90.7%②86.3%③91.9% 保92.3%教94.6%	B	
		・基本的な生活習慣を確立するための指導が行われている／〔肯〕90%以上	①86.4%②78.3%③89.0% 保90.8%教89.2%	B	
		・挨拶運動／月1回	生徒の委員会と協力して月1回の挨拶運動を実施できた。	A	
		・生徒の安全確保、交通事故防止など、安全指導に努めている／〔肯〕90%以上	①93.2%②92.8%③96.6% 保92.5%教97.3%	A	
		・分校と合同の防災訓練、参加体験的に学ぶ防災講座を実施	避難訓練と防災講座を分校と合同で実施した。	B	
		・朝の健康観察を通して、自己の健康管理に努めている生徒／90%	①72.2%②53.6%③71.9%	C	
		オ	新しい時代の学びを支える教職員の資質・能力の向上を図り、カリキュラム・マネジメントを推進する。	・GP(グレンジーション・ポリシー)・CP(カリキュラム・ポリシー)の実現状況／〔肯〕生徒・保護者・教職員それぞれ80%以上	
・少人数ユニットを活用した一人一公開授業と相互参観実施	年間参観期間を学期に1回企画したが、運用は各グループに委ねる形となった。			C	
・学習評価、ICT、生成AI活用に係る全体研修実施	年間4回実施した。			A	
・県外視察、研究会等に派遣し、報告会により全教員にフィードバック	台湾交流事業に備えた視察を実施した。			B	
・夏季休業中における「大学入試研究」実施を通して自己研鑽／一人1大学	教員数が減る中、各教科が工夫して実施し、生徒に情報を提示した。			A	
・不祥事根絶セルフチェック／遵守率90%以上	第1回99.9% 第2回99.7%			A	
カ	校内外の環境整備に努めるとともに、学校の取組を社会(保護者・地域)に開く。	・本校の施設・設備は整備されており、良好な教育環境が保たれている／〔肯〕80%以上	①77.8%②82.0%③86.1% 保77.0%教75.7%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>優先順位を決めて、予算を有効に活用することができた。継続して工事等の予算請求をしながら環境整備に努める。</li> <li>教育環境の美化、施設・設備の維持管理に努めた。生徒の取組状況も良好であった。</li> <li>定期的な巡視により現状把握及び迅速な対応ができた。今後も定期的な点検を実施する。</li> <li>Cラーニング及び自動採点システムの活用による校務の効率化が実現している。</li> <li>SNS等を活用した情報発信を充実させ、引き続き学校の魅力等の発信に努める。</li> </ul>
		・校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる／〔肯〕80%以上	①87.7%②89.2%③93.1% 保91.5%教81.1%	A	
		・専門委員による環境衛生活動及び点検／週1回	保健委員による水質検査及びCO2モニターによる換気を実施した。	B	
		・清掃・安全点検／月1回	月1回以上実施した。	A	
		・Cラーニング活用促進、自動採点システムの本格導入	Cラーニングを連絡・相談、健康観察、出席管理、アンケート等にも使用。自動採点システムも日常的に活用している。	A	
		・ホームページ、公式SNSによる発信／日平均1回以上	目標には達しなかったが、公式SNSで学校の日常を発信した。(1月までにInstagram201回投稿)	B	
・日々の教育活動などを積極的に広報・発信している／〔肯〕90%以上	①93.2%②92.1%③94.3% 保93.8%教94.6%	A			